# 企業情報

有限会社キットカッター 代表取締役 佐藤 隆			
所在地	愛知県愛西市早尾町		
ホームページ URL	http://www.kit-cutter.co.jp/ (販売会社: http://toyors.co.jp/ )		
設立年	平成6年	業種	建設業・製造業
従業員数	10人	資本金	300万円

## 企業概要

車のスリップによるヒヤリ体験から、路面掘削用特殊ビットを 発明し、特殊環状溝等があと施工できる「ケーズルビット」、 「ケーズル工法」を確立し、ビット製造メーカーではないが特許 取得を行うことになりました。

従来の坂道滑り止めとしては、コンクリート路面にドーナツ状の 環状溝を施す「真空リング工法」が主流ですが、コンクリート打 設時といった施工時期が限定的な工法です。これを表面が固まっ た後でも施工可能としたことや、アスファルト路面にも施工がで きることが大きな特徴です。



アスファルト舗装施工

### 自社の強み

「ケーズル工法」のライセンス料を5年間フリーにした 後、現在は全国に28社の正規施工店を認定。各県定数を決 め通常実施権を担保している。「ケーズルリング」も公共・ 民間を問わず、全国の工事現場で採用が拡大している。同商 品は市場性が期待されると判断し、量産化のための新工場用 地を確保するほか、中小企業ものづくり補助金を活用した事 業化を進めた。新たに販売会社ロードセーフティー(株)を 設立し、海外展開も視野に現在特許権3件、意匠権6件、商 標権5件、韓国特許1件にもとづく知財戦略、経営戦略を積 極的に展開しています。



ケーズルビット (リングタイプ)

#### 一押し商品

「グリップリング」は特殊ラバー製で耐摩耗性や耐熱性にすぐ れタイヤのスリップ時に威力を発揮します。特に急こう配と急 カーブが伴う坂道では、車両の内側タイヤが浮くことでスリップ する危険な事故を防ぐことができます。ケーズルビットで削った 特殊環状溝へグリップリングをはめ込み、路面から凸することに よるスリップ防止で今までにない新工法となります。また、リン グ交換も簡単に出来、ランニングコストを考えた商品です。



# 2024年1月31日 掲載

## 知財総合支援窓口活用のポイント

## 窓口活用のきっかけ

受注待ち体質からの脱却を目指し、ヒヤリ体験からスリップ防止用掘削工具を発明しまし たが、従来技術の工具との相違点を見いだせず、半ば特許出願を諦めていました。しかし、 特許流通アドバイザーの紹介で窓口担当者が同社を訪問し、特殊ビットの組合わせによる発 明発掘等を支援し、特許、意匠、商標の権利取得を目指して行くことになりました。

### 最初の相談概要

「ケーズルリング」量産化対応で材料供給に業界大手企業と成形条件等技術情報の打合が 進行しているなか、経営者には発明の権利保護が十分ではない点を指摘しまた。

知財戦略のサポートとして、①光触媒に関する技術情報等の提供と発明発掘、公設試への 耐候性試験の紹介、② | PDLによる特許・意匠・商標の先行技術調査支援、③特許出願の 発明の特定、特許事務所と連携による明細書作成支援、④特許庁施策・外国出願補助金の活 用支援により国内・韓国の特許権等取得のほか、新たなPCT出願、意匠出願も行いました。

#### その後の相談概要

経営戦略のサポートとして、支援機関のビジネスプラン発表会への参加を推薦し、発表企 業として採択されたことから高速道路会社、金融機関等とのマッチング等を支援しました。

また、農地転用に必要な開発審査会申請に対して「先端技術」説明資料作成等を支援し、認 可を得たことにより、新工場建設に向けて大きく前進しました。魅力ある商材といち早く感じ て頂いた大手企業と共に新たに新販売会社を設立し、国内外の販路開拓を進めています。

## 窓口を活用して自社が変わったところ

試行錯誤の開発成果は知財総合支援窓口を活用して権利化でき、専門家を活用しての契約 締結ではビットメーカーからのライセンス料収入、特許製品「ケーズルリング」などによる 売上も寄与し、業界のリーディングカンパニーに飛躍しつつあります。現在、新工場に移転 して地域雇用促進、保安用品販売店と契約支援による全国展開、INPIT の海外知財プロデュ ーサーの専門家派遣による代理店契約によって海外展開も進行中です。

### これから窓口を活用する企業へのメッセージ

窓口相談員の、適確で丁寧なアドバイスが企業にとって収益性向上に向けた中心的起爆剤 となります。「困ったものを解決する→お客様のニーズに答える→ヒット商品に繋がる!」 と考え、活路を見いだすチャンスともなり得ます。訪問による支援を受けることで救われる 中小企業も出てきます。日本経済にも影響を及ぼしてくる支援だと感じています。

#### 窓口担当者から一言 (氏名:井上 勝)



中小企業の現場では世界に通用するアイディアが埋もれていると感じていま す。知的財産を取得することにより、企業の大小に関係なく交渉でき、相手企業 に対しても優位な知財戦略、経営戦略を描け、ビジネスにも結びつけることがで きます。企業の身近な相談員として、大いに活用して頂きたいと思います。